

第3回エフエムしみず静岡 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和7年9月17日（水）14:00～15:00

2. 開催場所 江崎ビル5階会議室 静岡市葵区七間町8-20

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

欠席委員数 0名

ご出席委員の氏名

望月紀久朗（委員長）

小堺昭宏

岡谷典子

高木敦子

浪越達也

藤田尚徳

山梨由博

放送事業者側出席者

堀川恵司（代表取締役社長）

西智樹（常務取締役）

東祐希（編成制作）

4. 議 題

番 組 : 第 76 回清水みなと祭り 生中継！

～これが清水だ みなとまち清水～

放 送 日 : 令和 7 年 8 月 2 日(土) 18:00～21:00

5. 審議内容

冒頭、事務局から挨拶。弊社の活動報告を行ったあと、新会社となり初回の番組審議会のため、委員の挨拶を実施。放送番組趣旨説明のあと番組試聴に移り、続いて合評を行った。8月2日（土）放送「第76回清水みなと祭り 生中継！～これが清水だ みなとまち清水～」に対する主な発言内容と会社からの回答は以下のとおりである。

（望月委員長）

トークとBGMのバランスの検討（現場放送のため難しいかもしれないが、マイクの指向性など検討してみてはどうか）録音素材にもBGMを付けた方が良かったのでは。

（藤田委員）

後ろの音が大きい分、臨場感を感じられた。地元の祭りを知っている人にとっては、ラジオから流れるだけで嬉しい。行けなかった人にとっては高揚感がある。清水らしく絆を感じる。

（高木委員）

誰に聴いて欲しいのか、立ち位置を考えて作ることが大切。（清水みなと祭りのことを知らない人に聴いて欲しいとなるともっと説明が必要）テーマが粋、清水らしい番組。錚々たる方々が出演している、清水の風土・文化を感じる。

（小堺委員）

出演者（実行委員会）のパーソナル情報を入れるともっと親近感が湧く。地元清水の人だけではなく、県外から来た人のコメントなど、外から見た清水についても入れると良い。

（岡谷委員）

地元の方がメインで出演していたため、静岡や他の地域の人が出てきても良かった。リ

ポーターの声が聴きやすく安定していた。

（山梨委員）

喋りと後ろの音のバランスが気になる。市民参加型のまつりは、全国的に見ても少ない・貴重だと記憶している。積極的に PR して欲しい。（このような番組を続けることで知ってもらう機会が増える）

（浪越委員）

臨場感が伝わって来た、関係者の想いも伝わる。参加者だけではなく、まつりを見に来た人の感想も入れると良い。

6. 審議機関の答申 または 意見に対して取った措置

各委員から出された意見を制作現場に伝えるとともに、今後の番組編成、制作、企画の検討材料とするよう指示した。

7. 審議機関の答申 または 意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法および年月日

自社ホームページでの公表

8. その他の参考事項

次回開催日：令和 7 年 11 月 19 日（水）14：00～15：00